

3.

滿軍及警察隊ト協同攻撃セシ戰例

0647

〔3. 滿軍及警察隊ト協同攻撃セル戦例〕

目次

一、敵ヲ滿軍ト協同包圍シ
有利ナル戦闘ヲ交ヘタル戦例……………

(五)

0648

一、敵ヲ滿軍ト協同包圍シ

有利ナル戰鬪ヲ交ヘタル戰例

一、昭和九年十月、交林好、海龍等數匪首ノ率キル約二百ノ匪團、伊道縣海清房子冀家屯附近ニ蟠踞中トノ報ニ依リ、在伊巴丹站風間部隊（獨守歩一ノ四）長ハ、部下三十八名及滿軍騎兵一個連ヲ指揮、之ヲ拂曉攻撃スベク、三時同地出發、冀家屯（伊巴丹站西北約六軒）ニ向ヘリ。

二、五時三十分、冀家屯南側高地ニ達スルヤ、冀家屯ヨリ南進中ノ約二百ノ匪團ヲ發見セルヲ以テ、左ニ騎兵右ニ中隊主力ヲ展開、直ニ射撃ヲ開始セリ。然ルニ匪團ハ周章狼狽シ、東方北方西方ノ三方ニ分散、逃走ヲ開始セルヲ以テ、東方ニ乘馬分隊、北方ニ中隊主力、西方ニ滿軍ヲシテ追撃セシメタリ。

中隊主力約二千米前進セル頃、西方ニ猛烈ナル射撃ヲ聞ク。依ツテ滿軍ガ匪團ヲ捕捉セルモノト判斷、海清房子ニ向ヒ急進セリ。

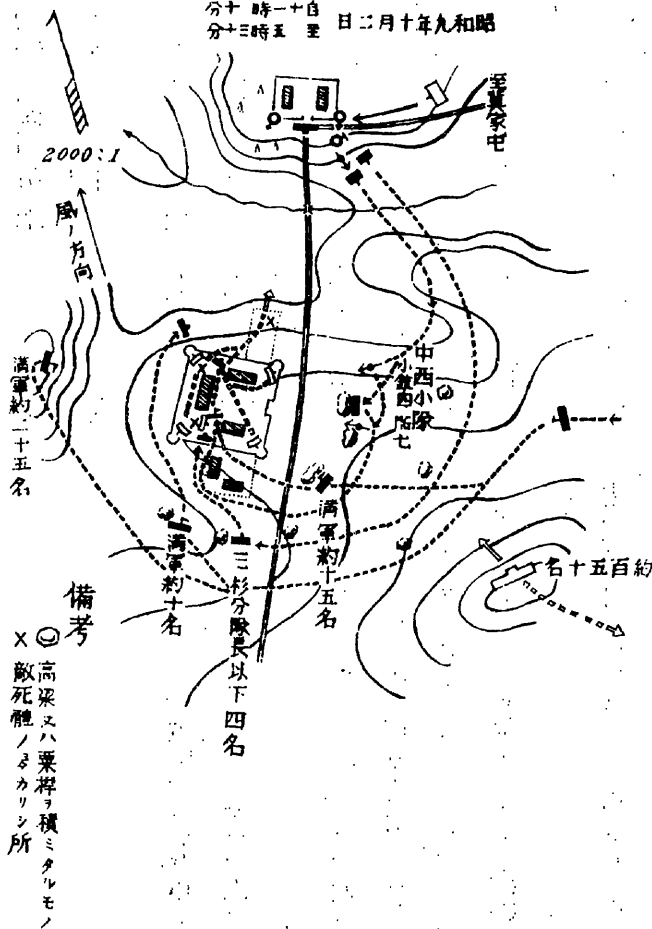
此ノ時滿軍ノ傳騎來リ、頭目ヲ主體トセル約三十ノ敵ヲ海清房子三軒家内ニ包圍セリト報告セリ。依ツテ之ヲ案内トシテ、次葉要圖ノ一軒家ニ向ヘリ。時二十一時ナリ。

此ニ於テ中隊長ハ、之ヲ一軒家方面ヨリ攻撃セントセシモ、斯クテハ敵ニ俯瞰セラレ、且地形平坦ニシ

ヲ猛射セラルルノ虞アルヲ以テ、接近容易ナル東南方ヨリ之ヲ北方ニ攻撃、一軒家トノ中間ニ於テ殲滅
 スベク、先ヅ三
 杉曹長ヲシテ一
 個分隊ヲ指揮セ
 シメ、滿軍ト協
 カセシム。然ル
 ニ敵ノ抵抗頑強
 ニシテ、攻撃意
 ノ如クナラザル
 ヲ以テ、中西小
 隊(MG一、小銃
 五)ヲシテ要圖
 ノ如ク迂回増援
 セシム。

海清房子附近戰經要圖

昭和九年十月二日 自十一時十分至十五時三十分



0650

午後二時三十分、中西小隊三軒家東方ノ粟程ヲ集積セル線ニ到着セルヲ以テ、機關銃ヲ以テ先ヅ正面ノ扉ヲ通シ家屋内ヲ猛射セシメ、正面ノ敵ヲ西方ニ追拂ヒ、兩小銃分隊ヲシテ、東及南ヨリ藁東ニ火ヲ點ジテ投擲セシメ、(イ)、(ロ)ノ家屋ヲ燒却セリ。然ルニ(ロ)ノ家屋ノ火勢南風ニ乗ジ、(ハ)ノ家屋ニ飛火シ、之ヲモ燒却スルヲ得タリ。此ノ頃東南方六〇〇米附近ヨリ、拂曉敗退セル匪團、集結猛射ヲ浴セタルヲ以テ、小西小隊ハ先ヅ家屋内ノ敵ヲ殲滅シタル後、後方ノ敵ヲ攻撃スベク決心シ、機關銃ヲシテ之ニ對抗セシメ、小銃分隊及滿軍ヲ以テ手榴彈ヲ投擲シツツ(ハ)ニ向ヒ突入セリ。

然ルニ敵ハ手榴彈ノ威力ニ壓倒サレ、逐次北側ニ追ヒツメラレ、遂ニ北側土塀ヲ破壊、(ホ)ニ逃走セントセルヲ以テ之ヲ急追シ、(ホ)ノ北側ニ於テ遂ニ全滅セシメタリ。依ツテ東方ヨリ攻撃セル敵ニ對セントセルモ、該敵ハ頭目連ノ據レル家屋燒却セラレ、全滅セルヲ覺リ、四散逃走ノ後ナリシヲ以テ、戦死者及負傷者ヲ收容、中隊主力ノ一軒家ニ歸還セリ。時ニ午後五時三十分ナリ。

〔戦闘ノ效果〕

敵ノ遺棄死體 三十二

鹵獲兵器 三十二

我方ノ損害

三杉曹長
阿部伍長
滿軍
同

戰死
負傷
戰死
負傷

三
六

0652